

今回の衆議院選総括を次のように行います。

- [1] 選挙演説を 12 日間で 1 日 2 回合計 24 回行った。1 回だけ周囲の交通事情等により演説の真ん中あたりで中止したのは誠に残念であった。後の 23 回のうち 2 回は予定場所の近くに移動はしたが、23 回とも場所に合わせた演説ができたと思っている。駅前演説・交差点等での演説で「唯一神又吉イエス何をしてくれるか。」の期待を感じた。皆さんにその納得と確信を与えたいと思います。そのために参議院選に向けて都内全域でできるだけ多くの演説を行っていききたい。
選挙街頭宣伝は 3 本のテープを使用した。(1) 今回衆議院選の唯一神又吉イエスの政治スタンス (2) 政治責任追及 (3) 在日韓国人の本質である。
今回の衆議院選、票数はまだ少ないが、選挙演説・選挙街頭宣伝で、唯一神又吉イエスの政治の浸透・啓蒙・底上げができたことは間違いないと確信している。来夏の参議院選で結実させたい。
- [2] 今回の衆議院選は解散から公示まで 20 日足らず、そのせいかボランティアの皆さんの参加は良くなかったが、少ない人数の皆さんでポスターも全箇所貼ることができました。参加された皆さんに心からの感謝を申し上げます。来夏の参議院選はポスター掲示板が約 14,000 箇所もあり、それだけでもたいへんである。すべては唯一神又吉イエスの働きにかかっていると自覚しています。日本の道は「唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本」しかない。唯一神又吉イエス、この旗を掲げて来夏の参議院選に向かって邁進したい。この旗のもとにボランティアの皆さんが、唯一神又吉イエスとともに日本を守り・つくる政治に参集していただきたい。そのために参議院選へ向けて懇親会を活性化させていきたい。懇親会は第 1 土曜日と第 3 土曜日の午後 2 時～6 時です。時間内であれば遅れての出席・早退もかまいません。是非、ご出席ください。
- [3] 「腹を切って死ぬべき。」の政治責任追及は 6 人の選挙カーと選挙事務所に行った。本人が選挙カーに同乗しているか、事務所にいるいないにかかわらず行った。今後も政治責任追及の論理の徹底を計りたい。日本人をはじめ人類一人ひとりの命を守るためである。
- [4] 通称認定の件は、今回も認定はなかった。今回、選挙準備期間が短く時間がなくて認定請求の場に同席できなかったが、党の選挙事務担当者の報告では「状況が変わってない。」との理由を言っていたとのことである。都選管の無責任な逃げ回りに怒りを覚えるものである。一般的通称認定の要件は十分に満たしていると判断している。又吉イエスの通称を認定せず、唯一神又吉イエスの政治の邪魔をしている都選管は日本・世界で毎日 50,000 人以上が死んでいるその命を殺すものである。選挙ポスターの論理と同じである。よって、都選管担当者は日本人であるなら腹を切って死ぬべきである。また、彼らはただ死んで終わるものではない。唯一神又吉イエスが彼らを地獄の火の中に投げ込むものである。

- [5] 今回の 1,011 票という票数は確かに多くはない。しかし、真実・真理・正義の唯一神又吉イエスの政治に投じた皆さんの 1 票はとてつもなく大きい。心からの感謝を申し上げます。皆さんの期待に来夏の参議院選を以って応えたい。ここに来夏の参議院選挙、東京都選挙区からこの唯一神又吉イエスが立候補することを表明する。